

「ユニフェム東京」

第7回 お話の会

学校づくりは
希望づくり

秋雨が煙る9月22日(月)午後、新宿区内で「ユニフェム東京・第7回お話の会」が後藤文雄氏を迎え、開かれた。スライド映写機入りの大きなトランクを引いて、飄々と現れた後藤神父。



NPO 法人
「アマタック(AMATAK)」
カンボジアと共に生きる会
後藤 文雄氏

1981年から94までカンボジア難民の子ども14人の里親となり、95年からはカンボジアのポル・ポト政権下で痛めつけられた辺境の地の学校づくりに情熱を傾け、来年1月には15校目が完成。

太平洋戦争時の新潟・長岡空襲で最愛の母と妹や弟を失った。戦争直後の「上野駅の地下道での戦災孤児たちの悲惨な状況に衝撃を受け、孤児たちのような救いを必要とする子どもたちの役に立



ちたい」「よし！学校をつくろう」のあとがきにかえてより）が、後藤氏の生きる原点にあった。そのカンボジアでの活動の一端をうかがった。

《その1》

今日こちらに向かう地下鉄の車内にポスターが

「2009 年度総会」のお知らせ！

日時：2009年1月29日(木) 13:00～

会場：津田塾大学同窓会会議室（千駄ヶ谷駅前）

記念講演…安倍 陽子氏（ユニフェム日本国内
委員会副理事長）

テーマ「途上国の女性に笑顔を
プレゼントして15年」

* 会員の皆さま、是非ご参加ください！

でていて、「支援は学校を建てることよりも子どもが育つことである。」と。私も学校をつくっていますが、あくまでもそれは手段でしかなく、中身が非常に大切である。実際の教育内容には一切口を出しません。カンボジアの教育文化省、地域の学校の先生方にお任せします。

この秋カンボジアから帰国しましたが、現地ではうれしいことがありました。50ccのバイクにリヤカーをつけて2時間半かけて、僻地の私のところまで報告に来てくれたひとりの女の子がいました。

「8月に短大を卒業し9月から中学の先生になります！」私はその子を掻き抱いて「よかった！」と、感動でした。8年前8月の年度末に、村の校長から手紙をもらい、「この子は小学校卒業とともに、少女売春に売られることになっている。近郊で売られる子は何人もいるが、この子は一番成績も良く、性格もよいので売られないようにしてもらえないか。」と相談を受けました。

家を訪ねると、その子を頭に8人の子どもがいてひどい小屋に住んでいました。どうやって食べているのかと思うほど何もない生活でした。東南アジアのケースは、貧困のどん底に陥ると長女が売られ、その身の代金で家族が生活する。私たちはその近くの田んぼを買っていたのでその田んぼから上がる米を現物支給するからこの子を売らないでくれ、中学の学費もこちらで出すからと両親に掛け合いました。彼女はとても成績がよく高校へと進み、卒業しました。出身の村ではないが就職先の学校も決まりました。半日ずれたら逢うこともなかった子、本当に嬉しかったです。

《その2》

プノンペンにシェルターをつくりました。留学に来ていた日本人のあるお嬢さんとプノンペン芸大の教授に会うため、夜のプノンペンの街に出ました。道に厚化粧をした子どもたちがズラーと並んでいるので「今夜は何のお祭り？」と彼女に聞くと彼女は笑いだしたのです。「お祭りなんかではありません。少女売春です。」「車から絶対に降りないで。」と言うのです。どの子も必死になって客を引き込もうとしています。その引っぱる子どもたちを見て、この子どもたちのために何か出来ないかと私の子どもたちと相談し、街にシェルターをつくることにしました。こっそりその子たちを隠して他に移し、職業訓練をさせようと、200万円 で古い民家を買ひ、無料宿泊所にしました。

3歳児を連れた妊娠6ヶ月の若いお母さんが入所第1号でした。出産費用と1年間分のミルク代を支給してあげるといふことで、3ヶ月経て、プノンペンで再び会ふと、生まれた子には名前が付いていませんでした。私に名付け親になってほしいといふので、1945年8月の戦災で死んだ私の妹の名前「淳子」と付けて、「お嫁に行くまで私がちゃんと面倒を見るから」とお母さんと約束しました。この淳子、1歳半で死んでしまいました。エイズの体内感染で…。その後お母さんも死にました。3歳の女の子は、陰性で元気で10年後に私に逢いに来てくれました。話を聴くと離婚した父親もエイズで死に、1人の兄も行方不明とのことでした。



学校の完成を待つ子どもたち

カンボジアに足をすくわれて

《里親として》

1980年ポル・ポト政権下の難民を受け入れを日本は拒否、そんな中、大和の定住促進センターに何処にも引き取り手のない男の子二人の里親を捜してほしいと言われ、教会に集った50人に聞いたが、男の子ではと断られ、結局後藤神父が育てることになった。以来94年まで東京で常時7,8人を手元に置き男の子10人、女の子4人を育てた。

《学校づくり》

元日本兵の子、ムラさんの助けでプノンペン周辺に4校の学校を建設した。シェムリアップでは、アンコールワットの修復工事の親方メアスブンブー氏の協力で妹の家を拠点にその周りに学校を建設した。全て幹線道路から外れたところに建設。予算は1教室50万円、教員室・トイレを入れて400万円。村の親たちも子どもを勉強させたいと思い、つくるといっばいになる。ポル・ポトの村に行ったら、「先生を送ってほしい。字も書けない、読めない、子どもに何も教えられない。」と悲痛な声を聞き、学校をつくることになった。カンボジアでの学校づくりはこれからも続く…。



皆さま、 「ユニフェム東京」のホームページ ご覧になりましたか？

6月に、リニューアルして以来、全国各地からの問い合わせや高校生からの「初めて知りました。女性としてこれからやる事がいっぱいありそうで、将来勉強していきたい。」とたのしいご意見もありました。

スタッフ一同、東京地域を超えたネットの広がりにびっくりし、喜んでいます。他地域のユニフェムの活動の宣伝にもつながりますようにと期待しています。



バザーいろいろ、にぎわう秋の1日



「ユニフェム東京」事務所



実践女子学園・
桜会バザー



吉祥寺教会

「SAY NO！キャンペーン」の第2弾

Stop Violence Against Women(STOPVAW)の世界的なキャンペーンを！

国連ユニフェムでは、人権擁護のプロジェクトとして「女性への暴力をなくそう！」という動きが活発になっています。世界各地では、それぞれの地域の女性に特有な形の女性への暴力があります。その暴力をなくすために情報と被害者支援の手段を用意しようとする運動です。暴力には、domestic violence(家庭内暴力)、sexual harassment(セクハラ)、sexual assault(強姦、痴漢などの行為)、trafficking in women(人身取引)など多様なものがあります。

国連ユニフェムは女性の人権と安全の保障を活動の中心にしていますが、その活動の戦略的目標の1つが、女性への暴力の根絶です。世界ではアジアを中心に人身取引、アフリカなどでのFGM(女性性器切除)等、深い闇に包まれた非人道的な暴力の連鎖があります。日本でも一生の間に3人に1人が何らかの暴力被害を受けているといわれます。

2008年10月11日(土)午後「ユニフェムよこはま」は、原ひろ子氏(城西国際大学院客員教授)を講師に迎え、「女性への暴力：究極の男女差別」と題し、講演会を行った。

*国連の動き

「人間の平等」が常識となったのは第二次世界大戦後からで、「国連憲章」(1945年)は、男女同権を謳っている(日本は1956年に国連に加盟)。

1948年12月10日第3回国連総会で「世界人権宣言」が採択され、前文で男女同権についての信念を再確認している。

1979年12月第34回国連総会で「女子差別撤廃条約」(日本政府訳。NGOの中には「女性差別撤廃条約」という表現を用いているものもある)が採択された。日本については、数年後の1985年7月25日に「第2回世界女性会議」において高橋展子日本政府代表(当時デンマーク大使)が署名した。

同条約の第1条で「女子差別の定義」を挙げ、第6条では「売春から搾取の禁止」を謳っているが、1979年当時DV、セクハラ、ストーカー、人身取引等は国連の場で話題になっていなかったために条文には盛り込まれていない。しかし、国連の「人権委員会」において、女性に対するあらゆる形態の差別、暴力の根絶が叫ばれ、後年「女子差別撤廃条約」に基づく議論の中に包含されるようになった。時代の変化とともに着目する領域も変わっていく。国連が各国政府に対し女子差別撤廃の状況を審査する際に、多分野のNGOが協同して、当面の政策や予算配分の不足項目に関する報告を委員会に提出してきている。

*日本の状況

国連では「女子差別撤廃条約」の「選択議定書」を1999年に無投票で採択しているが、日本は国内



法の未整備を理由に批准していない。これが現在の課題である。ただし、日本のよい点は、1957年から国連総会に際し政府代表団にNGOからの女性の参加を推進している点である。市川房枝さんが力となり藤田たきさんらを送り続けてきた。1958年からは「婦人の地位委員会(CSW)」に毎年女性NGOの代表を送っており、何が国連で議論されているか民間の立場で知ることができる。

女性に対する多様な暴力に関しどのように対応するか、その仕組みを築き上げるために民間の力への働きかけが大切である。具体的には施設の整備、予算の配分、NGOへの補助金の増加等がある。

100年近く、刑法「堕胎罪」では中絶した女性が罰せられ、女性を妊娠せしめた男性は全く処罰されないという内容は改訂されていない。売春禁止法では売春の当事者と斡旋人は罰せられるが、買春者(男性)は罰せられない。これは男女差別である。個別の事例について私たちは何ができるかを考え、行動し、さらに制度としての日本の法律体系や運営の実態にも目配りし、社会のあらゆる場面での男女差別をなくすことにより、女性に対する暴力の根絶に努めなければならない。また、日本にも世界にも男性の被害者がいることを忘れてはならない。(講演要旨)

「ユニフェム東京」第14回チャリティーコンサート

アダルベルト・スコッチ チェロコンサート

(元ウィーンフィルハーモニー管弦楽団チェリスト、ウィーン・モーツァルト協会賞受賞)

日時：2009.3.28(土) 13:30 開場 14:00 開演

会場：白寿ホール 4,000円 (全席自由)

主催：ユニフェム東京 〒151-0053 渋谷区代々木2-23-1-331 Tel. & Fax. 03-6228-0029



「ユニフェム東京」の会員・賛助会員の皆さま
会長 五十嵐 康子

暮れも押し迫ってまいりました。皆さまいかがお過ごしですか？

早いもので「ユニフェム東京」は2009年設立10周年を迎えます。皆さまのご協力で開発途上の女性への支援は順調に軌道に乗ってまいりました。目下10周年記念事業の準備を進めております。

3月28日渋谷の白寿ホールで日本にも多くの

ファンがいらっしゃるウィーンフィルで活躍されたチェリストのアダルベルト・スコッチ氏によるチャリティーコンサートを皮切りに、秋には写真家の大石芳野氏の講演会を予定しております。

大石氏は学生時代から発展途上国の問題に関心をもたれ、報道写真家として愛用のカメラを手に、アジア・アフリカの真実を撮り続けられてこられ、2007年には紫綬褒章を受章されています。

ユニフェムの活動と目的を同じにするところがあり、撮影された貴重な写真を拝見しながら、お話をうかがうことになっております。どうぞご期待ください。



*ご入会・ご寄付をいただき
有難うございます。

新規会員

宮澤 幸子
飯田 欣子

寄付者

高田 弘子

活動寄付者

阿部 幸子 泉 三和子 吉岡 淳子
飯田 寛子 加藤 恭子
五十嵐康子 牧島悠美子
池田 蒔子 松比良節子

(2008年11月20日現在)

(敬称略)

《会計から》

今年度の会費が未納の方は、年内に是非お振込みください。ユニフェムの事業年度は、その年の1～12月までです。また新年度もよろしくお願い申し上げます。

★先号の寄付者、活動寄付者のお名前に一部間違いがありました。訂正をしてお詫び申し上げます。

佐々岡 敏子 → 笹岡 敏子 竹内 あや子 → 武内 あや子 豊田 理佳 → 豊田 里佳 (敬称略)

《編集後記》

- ★女性に対する暴力反対「SAY NO!」のキャンペーンが、世界的に反響を呼んでいます。わが国も内閣府男女共同参画局のホームページにキャンペーンの署名のアピールが出て、政府関係者18名が署名しました。
- ★今号の発行日12月10日は期せずして「世界人権宣言」採択60周年に当たります。またアジアの今なお進む深刻な女性への暴力の実態の特集になり、改めて私たちの訴える力の持続の大切さを痛感します。(T)

ユニフェム東京NEWS 第26号

発行人：ユニフェム東京会長 五十嵐康子

発行日：2008年12月10日

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1
ニューステートメナー331
Tel&Fax 03-6228-0029

郵便振替:00190-6-5508800
<http://www.unifemtokyo.org>